

平成25年度 小木小学校

図書だより

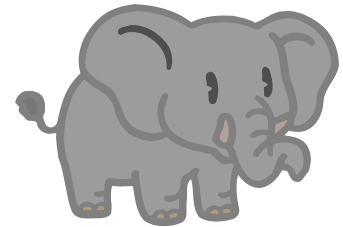
H25. 9. 10

高学年児童の感想

(8月の家族読書から)

『ぞうのエルマー』(4年女子)

毎年1回エルマーの日が来ると、ぞう達がいろんなもように飾っているけど、エルマーだけぞう色になって楽しんでいるのが面白かったです。それに、エルマーみたいなぞうがいたら楽しそうだなあと思いました。



『おれがあいつで あいつがおれで』(4年女子)

一夫と一美が入れかわるところがおもしろかったです。これからどうなるのかなあと思っ
てドキドキしました。

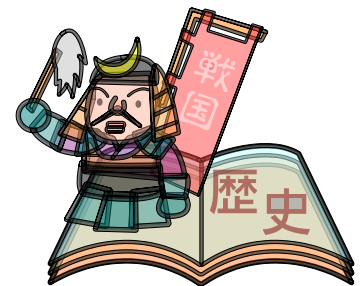


『なぞなぞライオン』(5年男子)

なぞなぞライオンと書いてあったのに、なぞなぞはなく、心やさしいライオンの話でした。

『漢検のひみつ』(5年男子)

漢検の人数や丸つけの仕方が分かりました。



『豊臣秀吉』(6年女子)

物語ではなく伝記を読んで、いつもの家族読書とは違うことを話し合えたので良かったです。

『想いが届くあの人のことば』(6年女子)

「想いが届くあの人のことば」の中に、テレビに出ていたのを見たことがある人がのっていたので、母との会話が盛り上がりました。

◎高学年になると、読書の質も変わってきて、読書を通して家族との会話を楽しんでいる子どもたちも増えています。まさに、家族読書が目指しているところです。とても素敵な家族読書ですね。